



一緒に話そっ!

路線バスや生活交通のこと

私たちの暮らしを支える路線バスなどの生活交通の現状について、シリーズでお伝えしています。連載5回目の今回は、12月15日からの「路線バスの運行経路等改正」についてお伝えします。



12月14日(日)の北陸新幹線糸魚川駅開業3か月前イベントすっごく楽しみ〜!!糸魚川駅アルプス口(南口)広場で夕方からたくさんのキャンドルを灯すんだって。おいしい地場産品コーナーもあるのよ。



うわあ、行きたい、行きたい!



いよいよ、アルプス口(南口)広場も完成お披露目ね。次の日には、「糸魚川駅アルプス口」というバス停を新設して、今、近くを通っている路線バス(※1)は、そこでも乗り降りできるようになるのよ。



今までの「糸魚川駅前」バス停はどうなるの?



名前が「糸魚川駅日本海口」に変わるわ。



そう。来年3月の北陸新幹線糸魚川駅開業に向けて、路線バスは、鉄道との乗り継ぎをよくしたり、観光などで糸魚川に来られる方にも便利になるように、12月15日に経路やバス停の名前や時刻等を変更するんだ。



他にはどんな変更があるの?



能生案内所から海側に向かう路線(※2)は、能生駅前まで経路を伸ばすよ。鉄道とバスの乗り継ぎがスムーズになるね。



今まで焼山温泉と笹倉温泉へはどちらか片方しか行けなかったんだけど、両方の温泉を通る便ができるの。



それから、早川線では、全ての便が糸魚川総合病院に寄るようになるよ。わかりやすいよね。



この前、姫川駅近くのいとこの家に行ったら、国道にバスレーンが新しくできてたけど、あそこはどうなるの?



ああ、国道の歩道の工事をしている所だね。「姫川団地入口」というバス停ができるよ。



バスをもっと使いやすくするために、路線の変更やバス停の新設だけでなく、高齢の方などから要望の多い自由乗降区間も増やすのよ(※3)。



自由乗降区間ってなあに?



バス停以外でも安全な所で乗り降りできる区間のことよ。交通安全上の問題がないか、警察と相談して決めるの。



運行時刻も変更になるんだ。でも、今回は大きくは変えないよ。



「糸魚川駅前」だけでなく、ほかのバス停の名前も一部変更(※4)するわ。近くの人にはなじみのある名前でも、他地区や市外の人にはわかりづらい名前があるの。今は、インターネットでいろんなことを調べたりするでしょ。なるべく公共施設や観光施設の名前を使えば、バス停もその施設もすぐ探せるからね。



うわあ、なんだか盛りだくさんだね。



新幹線開業の日までにできる準備は整えて、開業日当日はなるべく新幹線やえちごトキめき鉄道の運行時刻に合わせた時刻変更だけにしたいんだ。



じゃあ、新幹線開業日の来年3月14日にも改正があるってことね。



いところね、バス教室でいろいろ勉強したから、早くバスに乗って出かけたって言ってたよ。一緒に糸魚川駅アルプス口に行きたいな。



先月も、大野小学校の1・2年生やひすいの里総合学校の皆さんが参加してくれたからね。喜んでもらえてよかった!!バス教室にもたくさん参加してほしいわ。



よし!それじゃあ、これからもみんなで考えを出し合って工夫して、路線バスを便利にしていこうよ!

※1 早川線の中央大通り経由、蓮台寺線、市街地巡回線

※2 能生青海線、仙納線

※3 能生谷線…鷺尾～山王橋、柱道～森本

根知線…仁王堂～中村入口、栗山～大神堂入口、山口～別所

※4 詳しくは、おしらせばん11/25号をご覧ください。